

お客様本位の業務運営に関する取組状況

しんきん証券株式会社

当社は、2017年11月に制定した「お客様本位の業務運営に関する取組方針」および「お客様本位の業務運営に関するアクションプラン」に基づき、お客様本位の業務運営に向けた取組みを推進しております。

2018年度におきましては、次の取組みを実施しました。

1. お客様の最善の利益の追求

- ・営業担当者が金融規制、財務分析等に関する知識向上のため、信金中央金庫の職員を講師とした研修や外部研修に参加して知識習得を図ることにより、お客様の最善の利益を追求できるように努めております。
- ・お客様の最善の利益の追求のため、月次の業務運営委員会（注）において業務運営状況を評価するとともに、よりお客様のニーズに合った提供商品の選定を行っております。
- ・お客様に販売した商品の時価や格付等の変動に際し、日常的なフォローアップに努めております。

（注）当社の業務運営に関する基本的事項、証券営業・商品開発等に関する事項を審議する機関

2. 利益相反の適切な管理

- ・利益相反管理方針にもとづき利益相反の適切な管理を行うとともに、毎年度実施するコンプライアンス研修の中で、利益相反管理に関する研修を実施しております。

3. 手数料等の明確化

- ・2018年度に設定した投資信託も含め、当社が販売する投資信託にかかる手数料その他の費用については、運用会社と連携して商品概要説明書等に分かりやすく明記しております。
- ・同種の商品との比較等により、手数料水準が適正であることを確認するとともに、手数料水準の見直し等について、随時、検討しております。

4. 重要な情報の分かりやすい提供

- ・お客様の投資判断に役立つ情報を提供するため、信用金庫等向けのセミナーに講師・外部講師を派遣するとともに、債券発行体のIRを併せて実施

するなど、タイムリーな情報を提供できるように努めております。
(2018年度は地区および県別セミナーを32回開催)

5. お客様に最適な商品・サービスの提供

- ・日次・月次レポートについて、お客様に提供する市場の情報等の内容を充実させるため、外部調査機関との提携によって、よりバランスのとれた質の高い情報を提供しております。
- ・投資信託のラインナップ状況は、様々な投資ニーズに対応すべく、外国債券・国内リート・株式マーケットニュートラル型のほか、分散投資型・パッシブ型等の種類の拡充など、2018年度は30本の投信を設定しております。
- ・分散投資を行うお客様の選択肢を拡げるべく、商品の多様化、商品ラインナップの充実に向けて、多数の運用会社等のリサーチ、マーケティングを実施しております。

6. お客様本位の業務運営を徹底するための枠組みの整備

- ・お客様のことをより理解するとともに、リレーションの強化を図るため、営業担当者だけでなく、役員を含めた上席者による訪問頻度を高め、重層的に営業活動を展開することを重点施策としております。
- ・2018年度の職員向けコンプライアンス研修において、フィデューシャリー・デューティーについて研修を行っております。

※当社は、信金中央金庫グループ内の証券会社であり、信用金庫をはじめとする機関投資家の皆様や事業法人・地方公共団体・組合・財団等の一般投資家の皆様をお客様としています。